

2	法定	自主
	○	

産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 6 月 27 日

神奈川県知事 殿



提出者

住所 神奈川県高座郡寒川町倉見1358
株式会社 サニクリーン東京 湘南工場

氏名 工場長代行 水島 博

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

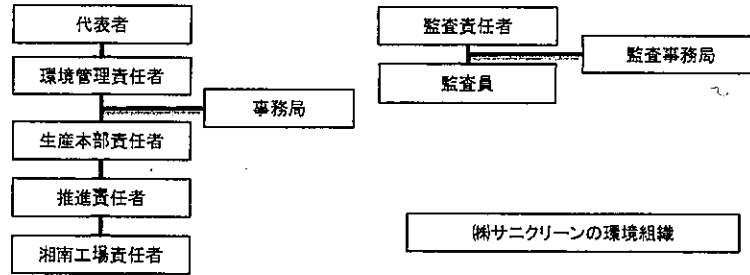
電話番号 0467-75-7721

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 サニクリーン東京 湘南工場		自主管理番号 (1220)
事業場の所在地	神奈川県高座郡寒川町倉見1358		TEL(連絡先): 0467-75-7721
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年間)		
当該事業場に関する事項			
① 事業の種類	R-サービスマン(他に分類されないもの) (具体的には) 洗濯業		
② 事業の規模 ※ 前年度実績を記入、医療機関は前年度末時点の病床数を記入。	製造業	製造品出荷額	百万円
	建設業	エリア内元請完成工事高	百万円
	医療機関	病床数	床
	その他の業種	売上高	2111 百万円
(上記項目に該当しない場合にはこちらに記載してください。)			
③ 従業員数	52名		
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程 ※ 産業廃棄物の種類ごとに記入	汚泥 → 自ら中間処理(脱水) → 委託処理(分級・混練) → 再生利用 砂混じり汚泥 → 委託処理(焼却) → 再生利用 廃油 → 委託処理(焼却) → 再生利用 堆積汚泥 → 委託処理(脱水) → 再生利用 廃プラスチック類 → 委託処理(破碎・圧縮) → 再生利用または管理型埋立 廃乾電池 → 委託処理(破碎・切断・製錬) → 再生利用 ガラスくず → 委託処理(破碎・切断) → 再生利用または管理型埋立 金属くず → 委託処理(破碎・切断) → 再生利用		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度(令和4年度)実績】	産業廃棄物の種類数	4 種類	* 種類ごとの前年度排出量は、別紙のとおり。
	① 排出量		2,336.4 t	
② 計画	(これまでに実施した取組)	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年10月に廃水処理施設内で使用する薬品を一部変更しました。これにより汚泥の減量化の効果が見込めます。 ・廃水処理施設内で使用する薬品の投入量を適時調整し、汚泥の減量化を実施しています。 ・取扱い品の修理体制を強化し、再利用率の向上を図っています。 		
	【(令和5年度)目標】	産業廃棄物の種類数	4 種類	* 種類ごとの本年度排出目標量は、別紙のとおり。
① 排出量		2,115.1 t		
② 計画	(今後実施する予定の取組)	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、手順の確立、効率化と教育により技術の向上を図り、記録・検証の実施継続をしていく予定です。 ・環境配慮型千葉工場との連携を強化し、継続して当湘南工場の生産の移管をしていく予定です。 ・修理品種を増やし、再利用量の向上を図ります。 		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	<ul style="list-style-type: none"> ・各職場で発生する廃棄物に関して、各々の分類表を見直し、前年同様ISO14001の環境マネジメントマニュアルに則り教育等を実施し、分解可能な廃棄物を分解し、分別・再生利用しています。 		
	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	<ul style="list-style-type: none"> ・分別に関して、各作業係での分別の監視と教育を継続実施していきます。 		
② 計画				

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	②+⑧ 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	24.4 t	* 種類ごとの前年度自ら再生利用量は、別紙のとおり。
	(これまでに実施した取組)		
	・廃プラにあたっては、当社製品そのものがマット・モップの洗濯によるレンタル業務が主体となり継続的プラスチック類のリースを実施しています。尚、不良なマットが発生した場合、修復作業工程により継続して廃プラの減量化に努めています。 ・金属くずでは、副資材により一部金属くずが発生します。それらは部品交換等によりレンタル資材として継続して再利用する事に努力しています。		
② 計画	【(令和5年度)目標】		
	②+⑧ 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	24.4 t	* 種類ごとの本年度自ら再生利用量は、別紙のとおり。
	(今後実施する予定の取組)		
	・昨年と同様に継続していくとともに、部品交換等によるレンタル資材の再利用を記録・検証していきます。 ・副資材等の修理作業を千葉工場に集約し、作業効率と再利用率の向上を図り、継続して実施します。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	⑤ 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	* 種類ごとの前年度自ら熱回収を行った量は、別紙のとおり。
	⑦ 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	2,031.5 t	* 種類ごとの前年度自ら中間処理により減量した量は、別紙のとおり。
	(これまでに実施した取組)		
	・汚泥の中間処理として使用している、フィルタープレスの機の定期的濾布交換を継続し施設の管理を行っています。又、使用薬品の管理記録・グラフ化により処理システムの徹底を図っています。		
② 計画	【(令和5年度)目標】		
	⑤ 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	* 種類ごとの本年度自ら熱回収を行う量は、別紙のとおり。
	⑦ 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1,833.4 t	* 種類ごとの本年度自ら中間処理により減量する量は、別紙のとおり。
	(今後実施する予定の取組)		
	・使用する薬品の添加量・添加時間等を再度検証・記録し、脱水汚泥の減量に努めます。 ・薬品購入先と協力し、より良い薬品の開発、テストなど実施していく予定です。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0	t
	* 種類ごとの前年度自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量は、別紙のとおり。		
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【(令和5年度)目標】		
	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t
	* 種類ごとの本年度自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う量は、別紙のとおり。		
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	⑩ 全処理委託量	280.5	t
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0	t
	⑫ 再生利用業者への処理委託量	200.7	t
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0	t
	⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t
	* 種類ごとの前年度処理委託量は、別紙のとおり。		
	(これまでに実施した取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・処理業者を選定し、廃棄物の資源化に努めています。 ・各々の産廃委託業者の現地視察及び状況の確認を計画的に実施しています。 		

② 計画	【(令和5年度)目標】	
	⑩ 全処理委託量	257.3 t
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	t
	⑫ 再生利用業者への処理委託量	257.3 t
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>・廃棄物は中間処分後、最終処分業者によりほぼ再資源化にすることが継続できていますが、処分先の事情により、26年度から一部の廃棄物が埋め立て処分となっています。今後も、25年度同様にすべて再資源化できるように優良認定業者に委託することを視野に入れて処分業者の選定に努めたいと思います。</p>		
※ 事務処理欄		

* 種類ごとの本年度処理委託量は、別紙のとおり。

備考

- 1 この様式は、前年度(令和4年度)の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成し、提出してください。
また、前年度(令和4年度)の産業廃棄物の発生量が1,000トン未満の事業場にあつては、神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市・横須賀市が推進する廃棄物自主管理事業へ参加するにあたり、事業場ごとに1枚作成し、提出してください。
- 2 当該年度(令和5年度)の6月30日までに提出してください。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入してください。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類(中分類)の区分を記入してください。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入してください。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入してください。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入してください。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入してください。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付してください。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入してください。
- 7 第5面の※欄には、何も記入しないでください。

産業廃棄物処理計画書

別紙一 概要

事業場名称: 株式会社 サニクリーン東京 湘南工務

2-1	決定	自主	(単位:トン)																				
			燃え殻	汚泥	廃油	廃炭	廃アルカリ	廃プラスチック	ガラス	窯灰	木くず	繊維くず	動物性残さ	動物系固形不燃物	ゴムくず	金属くず	プラスチック	繊維くず	動物の死体	ばいじん	その他	合計	
①	排出量		2,225.3	3.8				102.9										4.4					2,336.4
②+⑧	自ら再生利用を行った量		0	0			23.4											1.0					24.4
⑤	自ら熱回収を行った量		0	0			0											0					0
⑦	自ら中間処理により減量した量		2,031.5	0														0					2,031.5
③+⑨	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		0	0														0					0
⑩	全処理委託量		193.8	3.8			79.5											3.4					280.5
⑪	優良認定処理業者への処理委託量		0	0			0											0					0
⑫	再生利用業者への処理委託量		193.8	0			3.5											3.4					200.7
⑬	認定熱回収業者への処理委託量		0	0			0											0					0
⑭	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0	0			0											0					0
①	当該事業場における排出量		2,012.4	3.4			95.0											4.3					2,115.1
※1	自社の他事業場からの搬入量																						
②	自ら直接再生利用する量						23.4											1.0					24.4
③	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量																						
④	自ら中間処理する量		1,929.9																				1,929.9
⑮	④のうち熱回収を行う量																						
※2	自社の他事業場での処理量																						
⑥	自ら中間処理後の残さ量		96.5																				96.5
⑦	自ら中間処理により減量する量		1,833.4																				1,833.4
A	自己処理																						
⑧	自ら中間処理後に再生利用する量																						
⑨	自ら中間処理後に自ら埋立処分又は海洋投入処分する量																						
※3	自ら中間処理後に自社の他事業場での処理量																						
b	自ら中間処理後の処理委託量		96.5																				96.5
b-1	中間処理委託量		96.5																				96.5
	再生利用前委託量		96.5																				96.5
	最終処分前委託量																						
	下水等放流前委託量																						
b-2	最終処分委託量																						
B	直接処理委託量		82.5	3.4			71.6											3.3					160.8
B-1	中間処理委託量		82.5	3.4			71.6											3.3					160.8
	再生利用前委託量		82.5	3.4			71.6											3.3					160.8
	最終処分前委託量																						
	下水等放流前委託量																						
B-2	最終処分委託量																						
⑩	直接及び自ら中間処理後の処理委託量		179.0	3.4			71.6											3.3					257.3
⑪	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量																						
⑫	⑩のうち再生利用業者への処理委託量		179.0	3.4			71.6											3.3					257.3
⑬	⑩のうち認定熱回収業者への処理委託量																						
⑭	⑩のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量																						

令和5年度目標

産業廃棄物処理計画書

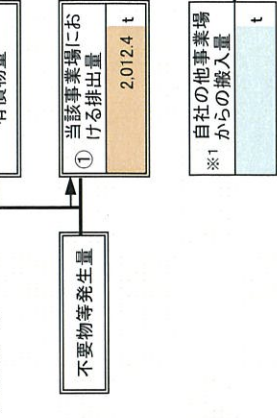
別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類

※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



(目的別内訳)

再生利用前委託量	96.5 t
最終処分前委託量	t
下水等放流前委託量	t

注) 右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	2,225.3 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	2,031.5 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	193.8 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	193.8 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

- 【産業廃棄物の種類 (ア〜ト)】
- ア. 燃え殻
 - イ. 汚泥
 - ウ. 廃油
 - エ. 廃酸
 - オ. 廃アルカリ
 - カ. 廃プラスチック類
 - キ. 紙くず
 - ク. 繊維くず
 - ケ. 動植物性残さ
 - コ. 動物系固形不燃物
 - サ. ゴムくず
 - シ. 金属くず
 - ス. 金属くず
 - セ. カラス・コンクリート・陶磁器くず
 - ソ. 鉱さい
 - タ. がれき類
 - チ. 動物のふん尿
 - ツ. 動物の死体
 - テ. はいしん
 - ト. 混合廃棄物その他

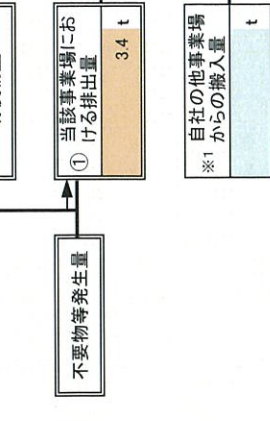
産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

産業廃棄物の種類	ウ. 廃油
① 当該事業場における排出量	3.4 t
② 自社の他事業場からの搬入量	t

不要物等発生量



有償物量

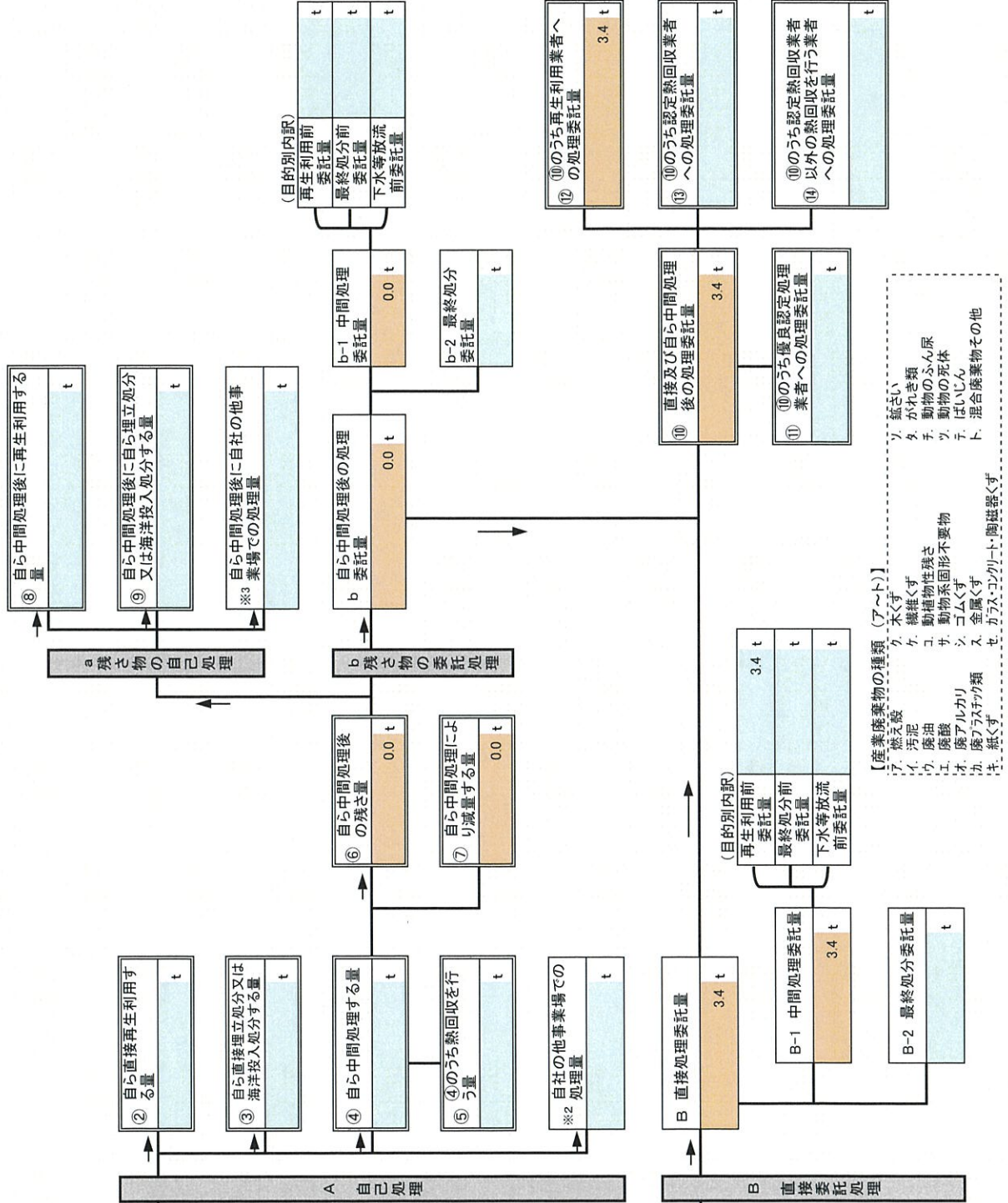


注) 右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	3.8 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	3.8 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

2-2	法定	自主
	○	

事業場名称：株式会社 サニクリーン東京 湘南工場



- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃え殻
 - イ. 汚泥
 - ウ. 廃油
 - エ. 廃酸
 - オ. 廃アルカリ
 - カ. 廃プラスチック類
 - キ. 紙くず
 - ク. 繊維くず
 - ケ. 動物性残さ
 - コ. 動物系固形不要物
 - シ. ゴムくず
 - ス. 金属くず
 - セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
 - ソ. 鉱さい
 - タ. かんきく
 - チ. 動物のふん尿
 - ツ. 動物の死体
 - テ. はいしん
 - ト. 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー—

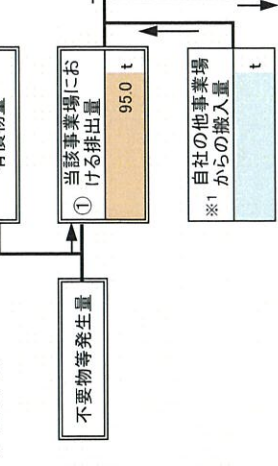
令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類

カ. 廃プラスチック類

※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)

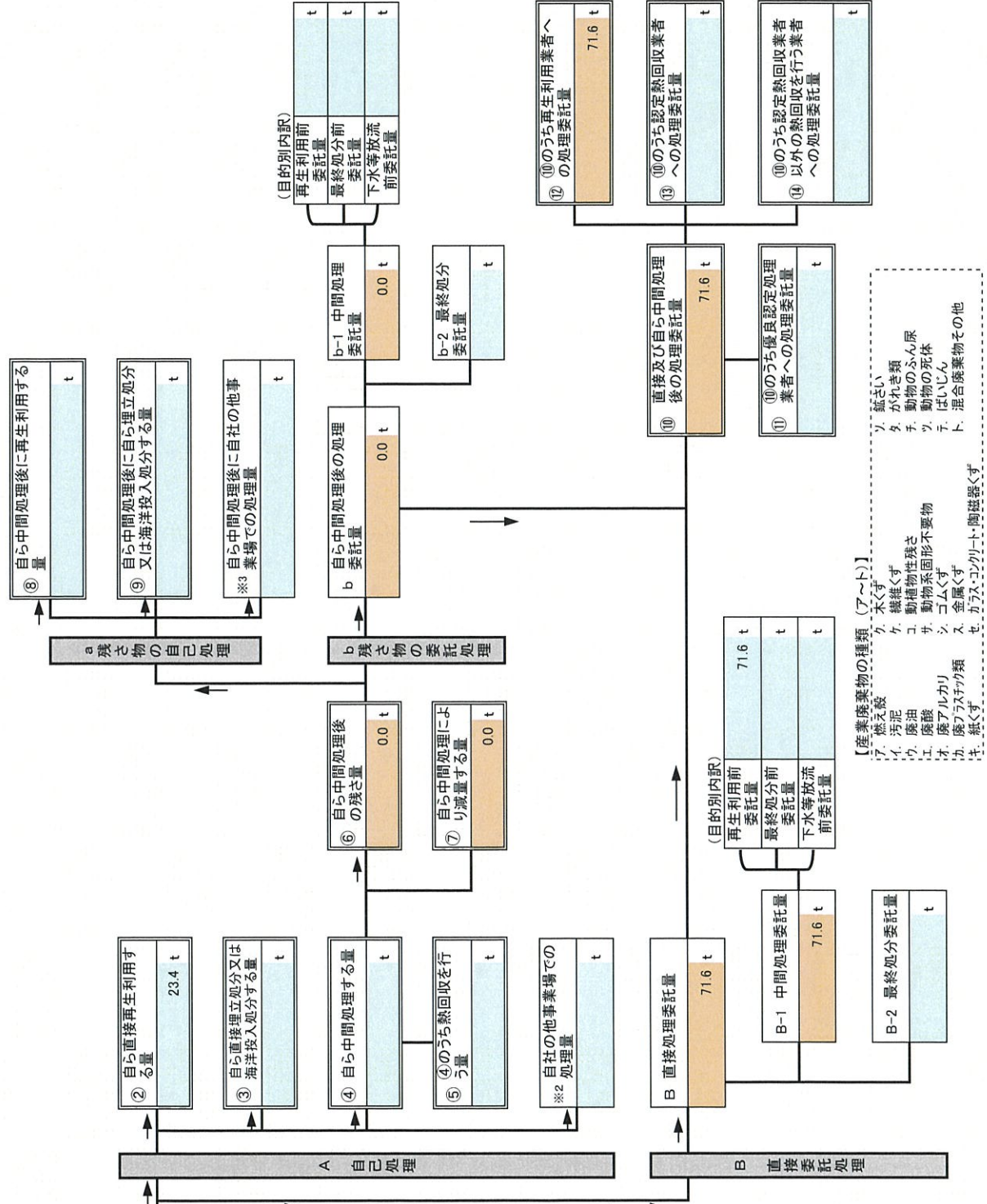


注) 右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合は、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	102.9 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	23.4 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	79.5 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	3.5 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

2-2	法定	自主
	○	

事業場名称：株式会社 サニクリーン東京 湘南工場



- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃え殻
 - イ. 汚泥
 - ウ. 廃油
 - エ. 廃酸
 - オ. 廃アルカリ
 - カ. 廃プラスチック類
 - キ. 紙くず
 - ク. 繊維くず
 - コ. 動物性残さ
 - サ. 動物系固形不燃物
 - シ. コムくず
 - ス. 金属くず
 - セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
 - ソ. 鉱さい
 - タ. がれき類
 - チ. 動物のふん尿
 - ツ. 動物の死体
 - テ. ばいじん
 - ト. 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画書

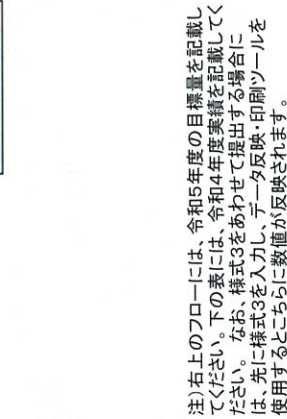
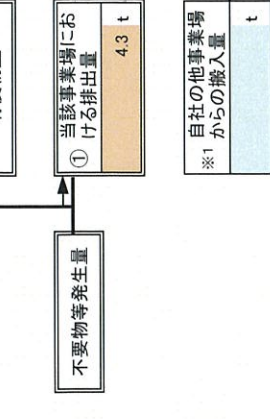
別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類

ス、金属くず
※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

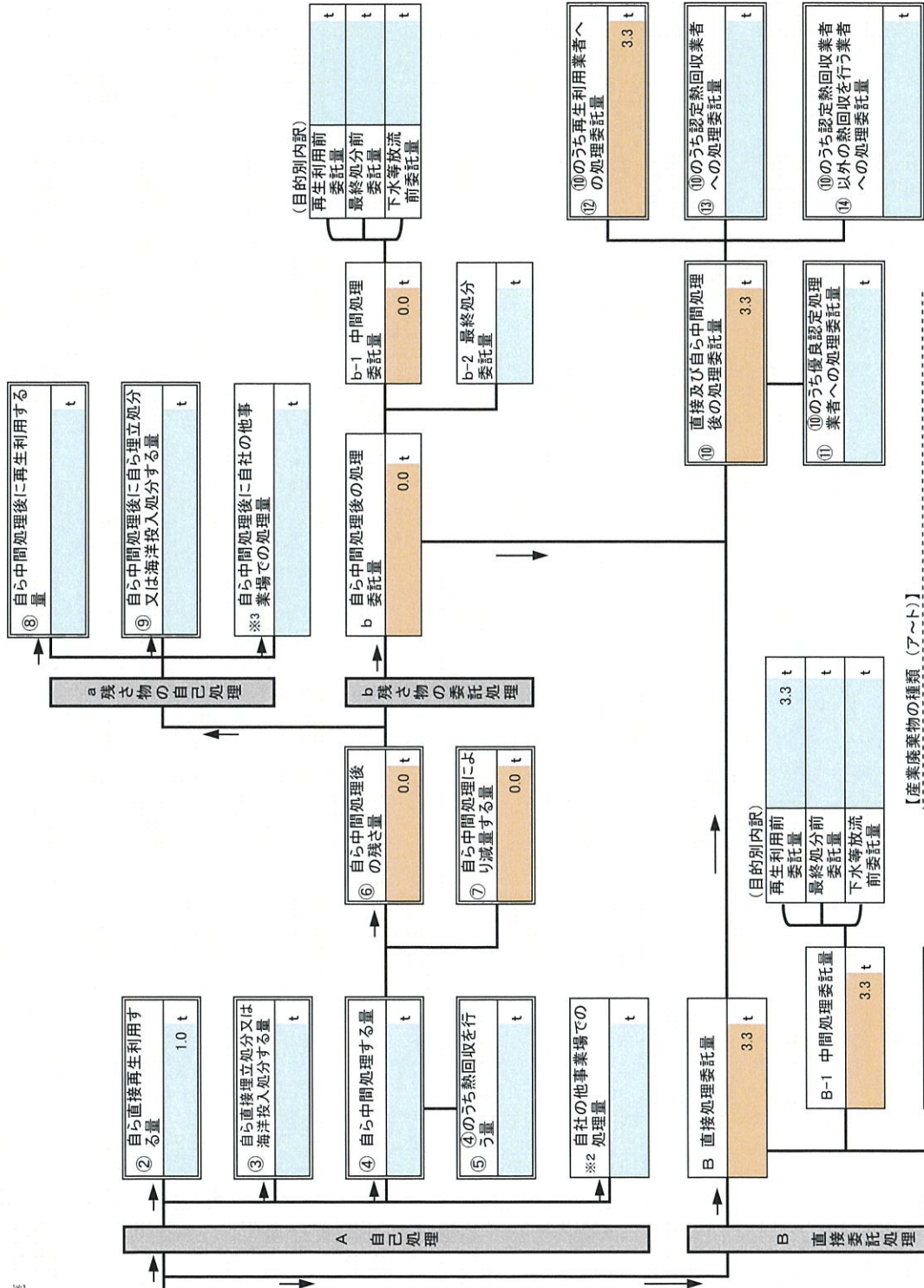
(単位:t/年)



項目	令和4年度実績
① 排出量	4.4 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	1.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	3.4 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用者への処理委託量	3.4 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

注) 右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

事業場名称：株式会社 サニクリーン 東京 湘南工場



【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

- ア. 燃え殻
- イ. 泥
- ロ. 汚泥
- ハ. 廃油
- ニ. 廃酸
- ホ. 廃アルカリ
- ヘ. 廃プラスチック類
- セ. 紙くず
- ソ. 繊維くず
- カ. 繊維くず
- キ. 動物植物性残さ
- ク. 動物糞尿
- ケ. 動物の死体
- コ. ばいじん
- サ. 金属くず
- ス. 金属くず
- セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
- ソ. 磁さい
- タ. かれき類
- チ. 動物のふん尿
- リ. 動物の死体
- ハ. ばいじん
- ト. 混合廃棄物その他